



平成23年度第2回模擬患者(SP)講習会
(2011/05/24)



第8回 English Communication Skill Seminar
(2011/06/07)



学校見学(郡山第一中学校 3年生)
(2011/06/23)

医療人育成・支援センターだより



第7号 2011年7月発行



平成22年度福島医学会学術研究集会シンポジウム

医師を育てる・医師を支える ～ 求める医師像・医師のあり方 ～



医師不足の対策として
医師養成に関心が集まっ
ています。

しかし、求める医師像・
医師のあり方について討
論される機会はなかなか
ありません。

平成23年2月6日(日)

に福島市コラッセふくしまにおいて、医療を受ける側
(患者・住民)、医療人(医療人を志す高校生・医学生、
医師・コメディカル)、行政担当者の3者が集まって
公開シンポジウムが開か
れました。

全参加者は201名でし
たが医療職を志す県内
の高校生41名を含み、
Audience response
system (ARS) :
キーパッドを用いてインタ



ラクティブに活発な議論が行われました。
第1部の講演、第2部のARSシンポジウムの概要と
プロダクトは福島医学会誌に掲載の予定です。

第1部 講演

1. 医学教育の現状と課題
文部科学省高等教育局 医学教育課長 新本 一弘先生
2. ともに考える医師の育成
～未来のプロフェッショナルなドクターとは？
東京医療センター 教育研修部臨床研修科医長 尾藤 誠司先生
～一般市民からみた医師育成への期待
～医療相談の現場を踏まえて
ささえあい医療人権センター-COML 山口 育子さん
4. 福島県立医科大学の医学教育・医師養成の取り組み
福島県立医科大学 附属病院長 村川 雅洋先生

第2部 ARSシンポジウム

討論 4テーマ

求められる医師像

医師不足と養成

患者・住民が良い医療を作るために出来ること

これから医療人を志す人への提言



キーパッド



福島県臨床研修病院ネットワークガイダンス in 東京2011

6月25日(土)に福島県臨
床研修病院ネットワー
ク(事務局:医療人育成・支
援センター)が主催となり、
都市センターホテル(東京
都千代田区)にて『福島県
臨床研修病院ネットワー
クガイダンス in 東京2011』
を開催しました。

当日はガイダンス・講演会・情報交換会の3部構成で開催
され、ガイダンスでは本県の臨床研修の魅力を伝えると共
に、「東日本大震災・福島原発事故の中での医療活動」と
題した緊急報告がなされました。
講演会では本学副理事長 竹之下誠一先生が福島医大の
世界戦略をテーマに、生化学講座教授 橋本康弘先生が
『認知症の糖差バイオマーカー』と題し講演されました。



また、学生や初期研修医に県内での臨床研修の魅力を大
いに伝えるため、県内10の臨床研修病院が相談コーナ
ーを設け、各病院の担当者が学生や研修医へ研修プロ
グラムなど熱心に説明していました。



スキルラボ ウォークイン・ハッピーアワー

スキルラボ・アドバンスは、医学生や看護学生などの自己
学習の利便性向上のため、7月から、平日の夕方時間帯
で事前予約なしで利用できるようになりました。

詳しくは・・・

スキルラボ管理者教員室

スキルラボ・アドバンス内 (4号館 5階)
内線 2670
E-mail CMECD@fmu.ac.jp

までお気軽にお問い合わせください。



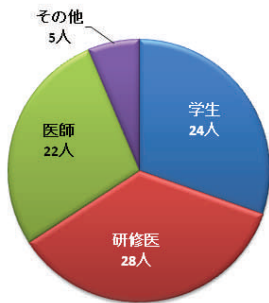
活動報告

◆第8回 English Communication Skill Seminar

6月7日(火)に本学第3講義室において、“Effective International Communication”と題し、国際学会・留学・手紙と電子メールをテーマに開催されました。当日は学生や研修医、医師、また学外からも参加があり、計79名もの参加がありました。セミナーの参加者からは「これからの学習に役立つ内容で良かった」、「テンポがよく飽きることなく楽しく勉強出来た」など好評を得ました。

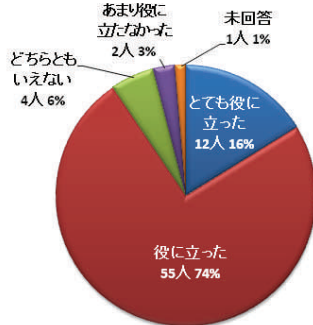


参加者内訳



参加者満足度

Q. 本日のセミナーは役に立ちましたか？

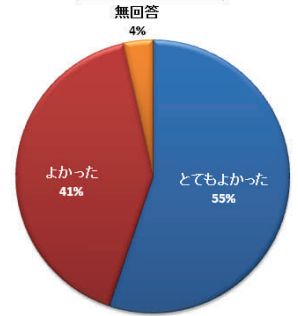


◆第7回福島アドバンスド・コース(FACE)

6月4日(土)～5日(日)に郡山市熱海町の緑風苑を会場に第7回福島アドバンスド・コースが開催されました。今回はいつもの基礎を身につける講義はもとより、3月11日に発生した東日本大震災により被害を受けた、福島第一原子力発電所の放射能汚染という観点から、放射線を正しく知るためのセミナーも開催されました。また、『東日本大震災～それぞれの対応～』と題し、県立会津総合病院、太田西ノ内病院、本学附属病院の災害当時の対応や状況など、貴重な災害医療の現場の現状を聞くことができました。参加者からは「福島のためにできることをやっていたいこうと思いました」という温かいメッセージをいただきました。



参加者満足度



女性医師支援活動

◆病児病後児保育所「すくすく」が開所

5月10日、福島県立医科大学内に病児病後児保育所「すくすく」が開所しました。子どもが病気または病気の回復期にあり、集団保育が困難な時期、一時的に保育室及び看護を行うことで、育児と仕事の両立を支援します。室内は個室と大部屋があり、シャワーやトイレも完備しています。子どもたちが安心して療養できる施設です。



◆獨協医科大学女性医師支援センター長が女性医師支援センターを視察

5月24日、獨協医科大学女性医師支援センター長 望月善子先生が女性医師支援センターを訪問され、女性医師支援のあり方や課題などについて意見交換をしました。



今後の予定

第2回女性医師・研究者支援シンポジウム

日時 平成23年9月17日(土) 13:30～
場所 コラッセふくしま(福島市)

info rmation



第8回福島アドバンスド・コース

FACE (Fukushima Advanced Course by Experts)

日時 平成23年8月20日(土)～21日(日)
場所 緑風苑(郡山市熱海町)



平成23年度医学教育ワークショップ(FD)

日時 平成23年9月10日(土)
場所 本学看護学部棟4階 ほか

第3回診断推論セミナー

日時 平成23年9月17日(土)～18日(日)
場所 緑風苑(郡山市熱海町)

～夏休み医療・福祉体験プログラム～



「子のいのちを授かり育てる父母を疑似体験する
早期ポリクリ(臨床実習)」
「子どもの健やかな成長と父母の役割を知る3～
4ヶ月検診体験プログラム」
「福島県の医療と福祉の現場体験学習」



「県南地域医療体験研修」
「奥会津地域医療体験研修」
「いわき地域医療セミナー～いわき探検隊～」

プログラムの詳細は下記までお問い合わせください。

福島県立医科大学 医療人育成・支援センター(CMECD)

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

Tel : 024-547-1047 / Fax : 024-547-1715

e-mail : CMECD@fmu.ac.jp / HP : <http://www.fmu.ac.jp/home/cmeecd/index.html>

